

授 業 科 目 名		スポーツ指導実習 (スポーツコーチ実習)		授業形態		実習		授業科目区分		専攻科目 (指導実践科目)			
担 当 教 員 名		競技スポーツ論・実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの担当教員				補助担当者名							
単 位 数		1単位 (1週間) 又は 2単位 (2週間)		履修年次		3年次		受け入れ人数					
授 業 の 概 要		本実習では、将来のスポーツ指導者としての専門職に必要な理論の学習を基礎に、さらに、より実践的な指導力を育成するため、各専門領域に関連する実際のスポーツ指導現場での指導実習を実施することとしています。そこでは、実際のスポーツ現場における指導実習や生の体験を通して、学生の専門的な知識や指導技術を高め、ひいては本学内における学生の教育・研究内容へフィード・バックさせることを主な目的としています。											
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法		到 達 目 標				成 績 評 価 の 方 法							
						授 業 期 間				定期 試験	そ の 他 ()	割合 (%)	
													授業
		■ 認 知 的領域	・ 訪問先の選択及び施設等研究を行う(施設等研究の作成). ・ 指導体験を記述・説明する(実習日誌の作成). ・ 指導体験を分析・評価する(所感文等の作成).						○	○		大学 評価	50
		■ 情 意 的領域	・ 事前の訪問先の選択、施設等研究、実習準備を主体的、積極的に行うことができる. ・ 指導体験を主体的、積極的かつ協力的に取り組むことができる. ・ 実習後に指導体験について真摯に振り返ることができる.				○					大学及 び実習 先評価	30
■ 技 能 的領域	・ ビジネスマナー及び一般常識を身につける. ・ 指導対象との円滑なコミュニケーションを行うことができ る				○					実習先 評価	20		
成績評価の基準		設定された指導体験の日数に参加することを条件に、事前準備や施設等研究、実習日誌、事後報告や所感文及び実習先の評価の各得点を合計し、60点以上のものを合格とする。											
テキスト、教材 参 考 書		①本学作成の「スポーツ指導実習の手引き」を配付。 参考図書は、授業時に推薦する。											
履 修 条 件 ・ 関 連 科 目		「競技スポーツ論・実習Ⅰ・Ⅱ」(⑩「競技スポーツ実習Ⅰ」)を修得していなければならない				備考(教員メッセ ージ含む)		本実習は、原則として夏期休業中の1週間又は2週間とし、履修可能単位数は2単位(1単位最低5日間)、1単位だけ履修する場合は1週間(最低5日間)を2回実施します。また、実習に関するガイダンスを2年次の後期に行うと共に、実習先の選考・認定等を行います。詳細は「体育学部履修要項」、2年次後期のガイダンス等で確認してください。					
オフィス・アワー		教務課キャリア支援係へ相談ください。適宜、担当教員と連絡調整します(月～金、9:00～17:00)。											
授 業 計 画													
回	授業担当者		授 業 内 容						授 業 時 間 外 の 指 導 等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	競技スポーツ論・実習 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ授業担当教員		【事前学習】						①WebClassにより復習 ②実習先研究レポートの作成 ③事前準備の資料等作成 ④WebClassにより復習 ⑤実習日誌の作成、挨拶状作成 ⑥所感文の作成 ⑦発表資料の作成 ⑧WebClassにより復習				
① オリエンテーション：スポーツコーチ実習の意義・目的・内容													
② 訪問先の選択及び施設等研究													
③ 事前準備(履歴書の作成、挨拶状の作成、実習計画の作成：課題設定等)													
④ スポーツコーチ実習受け入れ先等からの講話とグループディスカッション													
【実習活動】													
⑤ スポーツコーチ指導実習(1単位：1週間/30h、2単位：2週間/60h)													
【事後学習】													
2	⑥ スポーツコーチ体験の分析・評価及び今後の展望												
3	⑦ 事後報告①(スポーツコーチ体験の発表会等)												
4	⑧ 事後報告②(スポーツコーチ体験の発表会等)												
5													
6													
7													
8													